



政府統計

統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

2013年漁業センサス

内水面漁業調査

内水面漁業経営体調査票Ⅰ

(個人経営体用)

平成25年11月1日調査

この調査票は、統計以外の目的（税金の徴収等）に使用することはありません。

〔記入上の注意〕

- 記入に当たっては、「内水面漁業経営体調査票Ⅰ（個人経営体用）の記入の仕方」をよく読んでから、**黒の鉛筆又はシャープペンシル**を使用し、**間違えた場合は消しゴムできれいに消してください。**

★数字は枠からはみ出さないように記入してください。

★○印は点線に沿って記入してください。

記入例 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 記入例 ○

- 調査票の内容については、本年（平成25年）の**11月1日現在**で記入する箇所と、過去1年間で記入する箇所があります。過去1年間の場合は、**平成24年11月1日から平成25年10月31日までの1年間**について記入してください。

【統計調査員】 氏 名： 電話番号：	月 日（ ） 午前・午後 時ごろに 調査票の回収に伺いますので、 それまでに該当する箇所の記入をお願いします。
---	--

《地域センター連絡先》

〔事務処理欄〕

区分コード

都府県 (振興局)	市区町村	漁業地域	調査区	漁業集落	客体番号	湖沼番号
●●●	●●●●	●●●●	●●	●●●●	●●	●●
市区町村名		漁業地域名	湖沼名			

- ☐ すべての方が..... **2及び3ページ**を記入してください →
- ☐ 湖沼で漁業(採捕又は養殖業)を行った場合は... **4及び5ページ**を記入してください →
- ☐ 湖沼又はその他の内水面において、養殖業を行った場合は... **6及び7ページ**を記入してください →

I 世帯について

1 世帯員すべての人数

11月1日現在の世帯員の人数を記入してください。(人)

数字は、算用数字で1マスに1字ずつ右に詰めて記入してください。

		すべての世帯員				うち、満14歳以下の世帯員			
701	男	:	:	:	:	:	:	:	:
702	女	:	:	:	:	:	:	:	:

2 世帯としての専業・兼業

(1) 当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

	自家漁業専	兼業	
		自家漁業主	他が主
711	①	②	③

自家漁業には、共同経営や雇われは含みません。

兼業の場合は、過去1年間（平成24年11月1日～平成25年10月31日）の収入が多い方を「主」としてください。

4 漁業を行った人

満15歳以上の世帯員（平成10年10月31日までに生まれた人）のうち、過去1年間に漁業を行った人をもれなく記入してください。

住居を異にしており、生計を共にしていない人や、住居は共にしているが、生計を共にしていない人については記入しないでください。

経営主とは、自家漁業の経営に責任を持つ人や、経営の意思決定を行う人です。

		① 経営主との続柄	② 平成25年11月1日現在の満年齢													③ 男女の別	
			15	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75	男	女
			歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳以上		
731	0	1	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	①	②
732	:	:	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	①	②
733	:	:	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	①	②
734	:	:	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	①	②
735	:	:	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	①	②
736	:	:	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	①	②
737	:	:	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	①	②
738	:	:	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	①	②

- 続柄番号
- 01: 経営主
 - 02: 経営主の配偶者
 - 03: 子(満15歳以上)
 - 04: 子の配偶者
 - 05: 経営主の父母
 - 06: 経営主の配偶者の父母
 - 07: 兄弟姉妹
 - 08: 祖父母
 - 09: 孫(満15歳以上)
 - 10: 孫の配偶者
 - 11: その他(上記以外)

3 自家漁業の後継者の有無 当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

(2) 過去1年間の漁業以外の仕事について、
当てはまる番号をすべて○で囲んでください。

712	自営業	勤め
	(1)	(1)

共同経営や雇われて
漁業を行っている方
については、**勤めに○印**
を付けてください。

	有	無
721	(1)	(2)

(3) 民宿を行っている場合は、過去1年間の延べ
利用者数を記入してください。

713	民	宿	万	千	百	十	(人)
			:	:	:	:	:

後継者とは、過去1年間に漁業を行っ
た人のうち、将来自家漁業の経営主にな
る予定の人をいいます。
現在、自家漁業を行っていないにもか
かわらず。

- 1 : 自家漁業
- 2 : 自家漁業以外の自営業
- 3 : 共同経営の漁業の仕事
- 4 : 雇われて漁業の仕事
- 5 : 雇われて漁業以外の仕事

④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭
過去1年間にした仕事			日数が最も多い仕事							
自家の湖沼漁業	うち、陸上作業	自家養殖業	自家の湖上作業と内水面養殖業の作業日数	自家漁業以外の自営業	共同経営の漁業の仕事	雇われて漁業の仕事	雇われて漁業以外の仕事	過去1年以内に漁業を始めた人	日数が最も多い仕事	日数の多い
当てはまる人に○印			(日)	当てはまる人に○印					上はまる番号を記入	いずれかに○印
(1)	(1)	(1)	:	:	(1)	(1)	(1)	(1)	:	(1) (2)
(1)	(1)	(1)	:	:	(1)	(1)	(1)	(1)	:	(1) (2)
(1)	(1)	(1)	:	:	(1)	(1)	(1)	(1)	:	(1) (2)
(1)	(1)	(1)	:	:	(1)	(1)	(1)	(1)	:	(1) (2)
(1)	(1)	(1)	:	:	(1)	(1)	(1)	(1)	:	(1) (2)
(1)	(1)	(1)	:	:	(1)	(1)	(1)	(1)	:	(1) (2)
(1)	(1)	(1)	:	:	(1)	(1)	(1)	(1)	:	(1) (2)
(1)	(1)	(1)	:	:	(1)	(1)	(1)	(1)	:	(1) (2)

作業日数の数え方

- ・ 1日のうちに2回以上出漁しても1日と数えます。
- ・ 1日のうち湖上作業と養殖業の両方の作業を行っても1日と数えます。
- ・ なお、海面及び河川の漁業と湖沼漁業の陸上作業は含みません。

湖沼において漁業（採捕又は養殖業）を行った場合は、このページから記入してください。
 なお、湖沼又はその他の内水面において養殖業を行っていない場合は、5ページで終わりです。

Ⅱ 湖沼漁業

1 過去1年間の湖上作業に雇った人数を記入してください。(人)

2 家として、過去1年間に湖上作業を行った日数を記入してください。(日)

		男	女
201	計	：	：
202	15～19歳	：	：
203	20～24歳	：	：
204	25～29歳	：	：
205	30～34歳	：	：
206	35～39歳	：	：
207	40～44歳	：	：
208	45～49歳	：	：
209	50～54歳	：	：
210	55～59歳	：	：
211	60～64歳	：	：
212	65～69歳	：	：
213	70～74歳	：	：
214	75歳以上	：	：

2ページの世帯員を除いた「雇った人数」を記入してください。

221 ：

家として、湖上作業を行った日数の数え方

- ・ 1人の世帯員が湖上作業を行った場合は、その日数を記入します。
- ・ 1日のうちに、2人以上の世帯員が一緒又は別々に湖上作業を行っても1日と数えます。

3 漁業種類

(1) 過去1年間に湖沼漁業において行ったすべての漁業種類を○で囲んでください。
 そのうち、販売金額が最も多かったものを○で囲んでください。

(2) 過去1年間にに行ったすべての地方選定漁業種類を○で囲んでください。

			にの営の一販 すんに位売 ○べだ○の金 印ても印も額	
231		底びき網・船びき網	(1)	(1)
232	網	刺	(1)	(2)
233	漁	定置網	(1)	(3)
234	業	投網	(1)	(4)
235		その他の網漁業	(1)	(5)
236	その他の漁業	釣・はえ縄	(1)	(6)
237		採貝・採藻	(1)	(7)
238		籠類	(1)	(8)
239		その他の漁業	(1)	(9)
240	養殖業	魚類養殖	(1)	(10)
241		その他の養殖	(1)	(11)

地方選定漁業 種類番号	地方選定漁業種類名	○印欄
：	：	(1)
：	：	(1)
：	：	(1)
：	：	(1)
：	：	(1)
：	：	(1)
：	：	(1)
：	：	(1)
：	：	(1)
：	：	(1)
：	：	(1)

4 魚種

(1) 過去1年間に漁獲（湖沼養殖の収穫物を含む。）したすべてのものを○で囲んでください。

そのうち、販売金額が最も多かったもののつを○で囲んでください。

二を○で囲んでください。				にの営 すん べだ 印ても	の一販 に位売 ○の金 印も額
251	魚 類	こ	い	①	①
252		ふ	な	①	②
253		あ	ゆ	①	③
254		うぐい・おいかわ		①	④
255		わ	か さ ぎ	①	⑤
256		さけ・ます 類		①	⑥
257		し	ら う お	①	⑦
258		う	な ぎ	①	⑧
259		は	ぜ 類	①	⑨
260		その他の魚 類		①	⑩
261	貝 類	し	じ み	①	⑪
262		その他の貝 類		①	⑫
263	動水	え	び 類	①	⑬
264	物	あ	み 類	①	⑭
265	類産	その他の水産動物 類		①	⑮
266	そ	の 他		①	⑯

(2) 過去1年間に漁獲（湖沼養殖の収穫物を含む。）したすべての地方選定魚種を○で囲んでください。

[illegible]

5 過去1年間の漁獲物（湖沼養殖の収穫物を含む。）の販売金額（消費税を含む。）について、当てはまる番号を一つ〇で囲んでください。

	販売金額なし	10万円未満	10万円～30万円未満	30万円～50万円未満	50万円～100万円未満	100万円～300万円未満	300万円～500万円未満	500万円～1,000万円未満	1,000万円～2,000万円未満	2,000万円～5,000万円未満	5,000万円～1億円未満	1億円以上
271	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫

6 漁船

(1) 過去1年間に使用した漁船について、当てはまる番号をすべて○で囲んでください。
(借りた漁船を含みます。)

(2) 使用した漁船のうち、11月1日現在
で持っている隻数を記入して下さい。
(借りている漁船は含み、貸している
漁船は含みません。) (隻)

(隻)

	漁船非使用	無動力漁船	船外機付 漁船	動力漁船
281	①	①	①	①

282	無動力漁船	：	：
283	船外機付漁船	：	：
284	動力漁船	：	：

(3) 使用した動力漁船の合計トン数を記入してください。
(トン)

285

：	：		：
---	---	--	---

 (小数第1位まで記入し、小数第2位を切り捨ててください。)

湖沼又はその他の内水面において、養殖業を行った場合は、6～7ページを記入してください。

Ⅲ 内水面養殖業

1 過去1年間の養殖業に雇った人数を記入してください。

		(人)					
		男			女		
301	計	:	:	:	:	:	:
302	15～19歳	:	:	:	:	:	:
303	20～24歳	:	:	:	:	:	:
304	25～29歳	:	:	:	:	:	:
305	30～34歳	:	:	:	:	:	:
306	35～39歳	:	:	:	:	:	:
307	40～44歳	:	:	:	:	:	:
308	45～49歳	:	:	:	:	:	:
309	50～54歳	:	:	:	:	:	:
310	55～59歳	:	:	:	:	:	:
311	60～64歳	:	:	:	:	:	:
312	65～69歳	:	:	:	:	:	:
313	70～74歳	:	:	:	:	:	:
314	75歳以上	:	:	:	:	:	:

2ページの世帯員を除いた「雇った人数」を記入してください。

2 過去1年間の収穫物(養殖業)の販売金額(消費税を含む。)について、当てはまる番号を二つ〇で囲んでください。

	販売金額なし	10万円未満	10万円～30万円未満	30万円～50万円未満	50万円～100万円未満	100万円～300万円未満	300万円～500万円未満	500万円～1,000万円未満	1,000万円～2,000万円未満	2,000万円～5,000万円未満	5,000万円～1億円未満	1億円以上
321	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫

3 養殖種類

(1) 過去1年間に養殖したすべての養殖種類別に施設面積、使用面積を記入してください。

そのうち、販売金額が最も多かったものの一つを○で囲んでください。

施設面積

所有(借入を含む。)するすべての施設面積

使用面積

通常使用している面積
(魚類を放養していない施設は除く。)

			施設面積 万 千 百 十 (㎡)								うち、使用面積 万 千 百 十 (㎡)								販売金額が最も多かったものの一つに ○ 印
331	食 用	に じ ま す	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	①
332		そ の 他 ま す 類	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	②
333		あ ゆ	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	③
334		こ い	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	④
335		ふ な	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	⑤
336		う な ぎ	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	⑥
337		す っ ぽ ん	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	⑦
338		海水魚種(ひらめ等)	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	⑧
339	種 苗 用	そ の 他	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	⑨
340		ま す 類	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	⑩
341		あ ゆ	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	⑪
342		こ い	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	⑫
343	観 賞 用	そ の 他	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	⑬
344		錦 ご い	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	⑭
345		き ん ぎ よ	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	⑮
346	真 珠		:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	⑯

(2) 過去1年間に行ったすべての地方選定養殖種類を○で囲んでください。

4 養殖方法

過去1年間に養殖したすべての養殖方法別に養殖池数、養殖面積を記入してください。

そのうち、販売金額が最も多かったものの一つを○で囲んでください。

地方選定 養殖種類 番号	地方選定養殖種類名	○印欄
:	:	①
:	:	①
:	:	①
:	:	①
:	:	①
:	:	①
:	:	①
:	:	①

真珠養殖の場合は、「養殖池数」の欄に区画漁業権の数を記入してください。

		養殖池数 (網いけす数、養殖池の区画数) (面)	養 殖 面 積 万 千 百 十 (㎡)								販売金額 が最も多 かったも のの一つに ○ 印
351	池 止 水 式	:	:	:	:	:	:	:	:	:	①
352	中 流 水 式	:	:	:	:	:	:	:	:	:	②
353	養 循 環 式	:	:	:	:	:	:	:	:	:	③
354	ため池養殖	:	:	:	:	:	:	:	:	:	④
355	網いけす養殖	:	:	:	:	:	:	:	:	:	⑤
356	そ の 他 養 殖	:	:	:	:	:	:	:	:	:	⑥

調査は以上で終わりです。

ご協力ありがとうございました。

内容の問合せのみに使用させていただきますので、記入された方の氏名と電話番号の記入をお願いします。

記入者：

電話番号：

秘	統計法に基づく基幹統計
農林水産省	漁業構造統計



政府統計

統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

2013年漁業センサス 内水面漁業調査

内水面漁業経営体調査票Ⅱ (団体経営体用)

平成25年11月1日調査

この調査票は、統計以外の目的（税金の徴収等）に使用することはありません。

〔記入上の注意〕

- 記入に当たっては、「内水面漁業経営体調査票Ⅱ（団体経営体用）の記入の仕方」をよく読んでから、**黒の鉛筆又はシャープペンシル**を使用し、間違えた場合は消しゴムできれいに消してください。

★数字は枠からはみ出さないように記入してください。

★○印は点線に沿って記入してください。

記入例

0123456789

記入例

①

- 調査票の内容については、本年（平成25年）の**11月1日現在**で記入する箇所と、過去1年間で記入する箇所があります。過去1年間の場合は、**平成24年11月1日から平成25年10月31日までの1年間**について記入してください。

【統計調査員】 氏 名： 電話番号：	月 日（ ） 午前・午後 時ごろに 調査票の回収に伺いますので、それまでに該当する箇所の記入をお願いします。
---	---

《地域センター連絡先》

〔事務処理欄〕

区分コード

都府県
(振興局)

市区町村

漁業地域

調査区

漁業集落

客体番号

湖沼番号

組織区分

- 2：会社
- 3：漁業協同組合
- 4：漁業生産組合
- 5：共同経営
- 6：その他

市区町村名

漁業地域名

湖沼名

事業所名

☐ 湖沼で漁業（採捕又は養殖業）を行った場合は・・・2及び3ページを記入してください →

☐ 湖沼又はその他の内水面において、養殖業を行った場合は・・・4及び5ページを記入してください →

湖沼において漁業（採捕又は養殖業）を行った場合は、このページから記入してください。
 なお、湖沼又はその他の内水面において養殖業を行っていない場合は、3ページで終わります。

I 湖沼漁業

- 1 過去1年間（平成24年11月1日～平成25年10月31日）の湖上作業の従業者数を記入してください。
- 2 過去1年間に湖上作業を行った日数を記入してください。

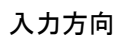
		(人)						(日)			
		男			女						
201	計	:	:	:	:	:	:	221	:	:	:
202	15～19歳	:	:	:	:	:	:				
203	20～24歳	:	:	:	:	:	:				
204	25～29歳	:	:	:	:	:	:				
205	30～34歳	:	:	:	:	:	:				
206	35～39歳	:	:	:	:	:	:				
207	40～44歳	:	:	:	:	:	:				
208	45～49歳	:	:	:	:	:	:				
209	50～54歳	:	:	:	:	:	:				
210	55～59歳	:	:	:	:	:	:				
211	60～64歳	:	:	:	:	:	:				
212	65～69歳	:	:	:	:	:	:				
213	70～74歳	:	:	:	:	:	:				
214	75歳以上	:	:	:	:	:	:				

数字は、算用数字で1マスに1字ずつ右に詰めて記入してください。

- 3 漁業種類
- (1) 過去1年間に湖沼漁業において行ったすべての漁業種類を○で囲んでください。
 そのうち、販売金額が最も多かったものを○で囲んでください。
- (2) 過去1年間に行ったすべての地方選定漁業種類を○で囲んでください。

		にの営のー販 すんに位売 ○べだ○の金 印ても印も額	
231	網漁業	底びき網・船びき網	(1) (1)
232		刺網	(1) (2)
233		定置網	(1) (3)
234		投網	(1) (4)
235		その他の網漁業	(1) (5)
236	その他の漁業	釣・はえ縄	(1) (6)
237		採貝・採藻	(1) (7)
238		籠類	(1) (8)
239		その他の漁業	(1) (9)
240	養殖業	魚類養殖	(1) (10)
241		その他の養殖	(1) (11)

地方選定漁業 種類番号	地方選定漁業種類名	○印欄
:	:	(1)
:	:	(1)
:	:	(1)
:	:	(1)
:	:	(1)
:	:	(1)
:	:	(1)
:	:	(1)
:	:	(1)
:	:	(1)
:	:	(1)
:	:	(1)



(1) 過去1年間に漁獲（湖沼養殖の収穫物を含む。）したすべてのものを○で囲んでください。
そのうち、販売金額が最も多かったもの一つを○で囲んでください。

にの営のの一販
すんに位売
○だ○の金
印ても印も額

[illegible]

	販売金額なし	10万円未満	10万円未満	30万円未満	50万円未満	100万円未満	300万円未満	500万円未満	1,000万円未満	2,000万円未満	5,000万円未満	1億円以上
271	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)

(1) 過去1年間に使用した漁船について、当
てはまる番号をすべて○で囲んでください。
(借りた漁船を含みます。)

(2) 使用した漁船のうち、11月1日現在
で持っている隻数を記入して下さい。
(借りている漁船は含み、貸している
漁船は含みません。) (隻)

282	無 動 力 漁 船	：	：
283	船外機付漁船	：	：
284	動 力 漁 船	：	：

(トン)

（小数第1位まで記入し、小数第2位を切り下げてください。）

小数点

湖沼又はその他の内水面において、養殖業を行った場合は、4～5ページを記入してください。

Ⅱ 内水面養殖業

1 過去1年間の養殖業の従業者数を記入してください。

		(人)					
		男			女		
301	計	:	:	:	:	:	:
302	15～19歳	:	:	:	:	:	:
303	20～24歳	:	:	:	:	:	:
304	25～29歳	:	:	:	:	:	:
305	30～34歳	:	:	:	:	:	:
306	35～39歳	:	:	:	:	:	:
307	40～44歳	:	:	:	:	:	:
308	45～49歳	:	:	:	:	:	:
309	50～54歳	:	:	:	:	:	:
310	55～59歳	:	:	:	:	:	:
311	60～64歳	:	:	:	:	:	:
312	65～69歳	:	:	:	:	:	:
313	70～74歳	:	:	:	:	:	:
314	75歳以上	:	:	:	:	:	:

2 過去1年間の収穫物(養殖業)の販売金額(消費税を含む。)について、当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

	販売金額なし	10万円未満	10万円～30万円未満	30万円～50万円未満	50万円～100万円未満	100万円～300万円未満	300万円～500万円未満	500万円～1,000万円未満	1,000万円～2,000万円未満	2,000万円～5,000万円未満	5,000万円～1億円未満	1億円以上
321	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫

3 養殖種類

(1) 過去1年間に養殖したすべての養殖種類別に施設面積、使用面積を記入してください。

そのうち、販売金額が最も多かったものを○で囲んでください。

施設面積

所有(借入を含む。)するすべての施設面積

使用面積

通常使用している面積
(魚類を放養していない施設は除く。)

			施設面積 万 千 百 十 (m ²)				うち、使用面積 万 千 百 十 (m ²)				販売金額が最も多かったものに ○ 印
331	食 用	に じ ま す	:	:	:	:	:	:	:	:	①
332		そ の 他 ま す 類	:	:	:	:	:	:	:	:	②
333		あ ゆ	:	:	:	:	:	:	:	:	③
334		こ い	:	:	:	:	:	:	:	:	④
335		ふ な	:	:	:	:	:	:	:	:	⑤
336		う な ぎ	:	:	:	:	:	:	:	:	⑥
337		す っ ぽ ん	:	:	:	:	:	:	:	:	⑦
338		海水魚種(ひらめ等)	:	:	:	:	:	:	:	:	⑧
339		そ の 他	:	:	:	:	:	:	:	:	⑨
340	種 苗 用	ま す 類	:	:	:	:	:	:	:	:	⑩
341		あ ゆ	:	:	:	:	:	:	:	:	⑪
342		こ い	:	:	:	:	:	:	:	:	⑫
343	観 賞 用	そ の 他	:	:	:	:	:	:	:	:	⑬
344		錦 ご い	:	:	:	:	:	:	:	:	⑭
345		き ん ぎ よ	:	:	:	:	:	:	:	:	⑮
346	真	珠	:	:	:	:	:	:	:	:	⑯

(2) 過去1年間に行ったすべての地方選定養殖種類を○で囲んでください。

4 養殖方法

過去1年間に養殖したすべての養殖方法別に養殖池数、養殖面積を記入してください。

そのうち、販売金額が最も多かったものを○で囲んでください。

地方選定 養殖種類 番 号	地方選定養殖種類名	○印欄
:	:	①
:	:	①
:	:	①
:	:	①
:	:	①
:	:	①
:	:	①
:	:	①

真珠養殖の場合は、「養殖池数」の欄に区画漁業権の数を記入してください。

			養殖池数 (網いけす数、養殖池の区画数) (面)	養 殖 面 積 万 千 百 十 (m ²)	販売金額が最も多かったものに ○ 印
351	池 中 養 殖	止 水 式	:	:	①
352		流 水 式	:	:	②
353		循 環 式	:	:	③
354	た め 池 養 殖		:	:	④
355	網いけす養殖		:	:	⑤
356	そ の 他 養 殖		:	:	⑥

調査は以上で終わりです。

ご協力ありがとうございました。

内容の問合せのみに使用させていただきますので、記入された方の氏名と電話番号の記入をお願いします。

記入者：

電話番号：

秘	統計法に基づく基幹統計
農 林 水 産 省	漁 業 構 造 統 計



政府統計

統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

2013年漁業センサス 内水面漁業調査

内水面漁業地域調査票

平成25年11月1日調査

**この調査票は、統計以外の目的(税金の徴収等)に使用することは
ありません。**

〔記入上の注意〕

- 記入に当たっては、「内水面漁業地域調査票の記入の仕方」をよく読んでから、**黒の鉛筆又はシャープペンシル**を使用し、間違えた場合は消しゴムできれいに消してください。

★数字は枠からはみ出さないように記入してください。

★○印は点線に沿って記入してください。

記入例

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

記入例

○

- 調査票の内容については、本年(平成25年)の**11月1日現在**で記入する箇所と、過去1年間について記入する箇所があります。過去1年間の場合は、**平成24年11月1日から平成25年10月31日までの1年間について**記入してください。

【統計調査員】

氏 名

電話番号

月 日 ()

午前・午後

時ごろに

調査票の回収に伺いますので、
それまでに該当する箇所の記入
をお願いします。

《地域センター連絡先》

〔事務処理欄〕

区分コード

都府県
(振興局)

市区町村

水系

小水系

客体番号

：

：

：

：

：

漁協種類コード

- 1：河川
- 2：湖沼
- 3：養殖

：

市区町村名

客体名

複数の河川（小水系）を管理している組合の方は、() の項目について、河川（小水系）ごとに別調査票で記入願います。
そのほかの項目については、1枚にまとめて記入してください。

I 組合員数

11月1日現在の漁業協同組合の正・准組合員数について記入してください。

(人)

数字は、算用数字で1マスに1字ずつ右に詰めて記入してください。

101	正 組 合 員	:	:	:	:
102	准 組 合 員	:	:	:	:

II 生産条件

1 漁場環境

(1) 11月1日現在に漁業協同組合の管轄区域内にある河川・湖沼関連施設について、当てはまる番号をすべて○で囲んでください。

	堰 堤	うち、 魚道つき	魚礁・魚 巢ブロッ ク	産卵場
111	①	①	①	①

堰堤… 水流をせき止めたり、調節したりするために、河川の途中や湖沼の出入り口に設けられた仕切り。

魚礁・魚巢ブロック… 河川や湖沼に自然石やブロックを人為的に投入し、又は設置された水産動植物の生息場。

産卵場… 水産動植物の産卵を行う場所として、禁漁区の設定、水生植物の保護・造成、河床の整備、浮産卵礁の設置、堆積物の除去等を行っている区画。

(2) 過去1年間（平成24年11月1日～平成25年10月31日）に漁業協同組合の漁場環境改善への取組について当てはまる番号をすべて○で囲んでください。

	種 苗 生 産 ・ 放 流	中 間 育 成	保 護 水 面 の 管 理	産 卵 場 の 造 成 管 理	魚 道 の 管 理	魚 つ き 林 の 造 成	植 樹 活 動 以 外 の 動	河 川 ・ 湖 沼 の 清 掃 活 動
121	①	①	①	①	①	①	①	①

魚つき林… 水面に対する森林の陰影、投影、魚類等に対する養分の供給、水質の汚濁防止等の作用により魚類のすむところや繁殖を助ける目的で設けた林。ただし、魚つき保安林として指定されたものは除く。

植樹活動… 森林がもたらす栄養分に富んだ水の安定供給、保水機能、良質の土砂の供給等により魚介類等を保育する目的で山に木を植え、その保育作業をすることをいう。

(3) 過去1年間に漁業協同組合の生産した種苗の種類について、当てはまる番号をすべて○で囲んでください。

放流等のために行う中間育成や
蓄養は除きます。

	さ け ・ ま す 類								あ	こ	ふ	そ
	さ く 河 性			陸 封 性								
	し ろ ざ け	さ く ら ま す	そ の 他	に じ ま す	あ ま ご	や ま め	い わ な	そ の 他				
131	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)

(4) 過去1年間に漁業協同組合の放流したものについて、数量を記入してください。

						百 十 万 万 万 千 百 十 (尾)								
141	さくけ	さく河性	しろざけ	:	:	:	:	:	:	0	0	0		
142			さくらます	:	:	:	:	:	:	0	0	0		
143			そ の 他	:	:	:	:	:	:	0	0	0		
144			・陸封性	にじます	:	:	:	:	:	:	0	0	0	
145	あ ま ご	:		:	:	:	:	:	0	0	0			
146	や ま め	:		:	:	:	:	:	0	0	0			
147	い わ な	:		:	:	:	:	:	0	0	0			
148	類	性	そ の 他	:	:	:	:	:	:	0	0	0		
149	あ ゆ			:	:	:	:	:	:	0	0	0		
150	こ い			:	:	:	:	:	:	0	0	0		
151	ふ な			:	:	:	:	:	:	0	0	0		
152	う な ぎ			:	:	:	:	:	:	0	0	0		
153	そ の 他 の 魚 類			:	:	:	:	:	:	0	0	0		

					千 百 十 万 万 万 万 千 百 十 (粒)								
154	わ	か	さ	ぎ 卵	:	:	:	:	:	0	0	0	0
155	そ	の	他	の 卵	:	:	:	:	:	0	0	0	0

				万 千 百 十 (kg)					
156	貝		類	:	:	:	:	:	:

2 遊漁の状況

(1) 過去1年間に漁業協同組合の遊漁承認証の発行枚数について記入してください。

遊漁承認証の対象魚種が複数魚種の場合は、それぞれの対象魚種に記入してください。

(例) あゆ、やまめ及びこいの複数魚種を対象とした遊漁承認証を過去1年間に100枚発行した場合は、あゆ欄に100枚、ます類欄に100枚、こい・ふな類欄に100枚とそれぞれに記入してください。

遊漁承認証	年 間	ま す 類 万 千 百 十 (枚)					あ ゆ 万 千 百 十 (枚)					こ い ・ ふ な 類 万 千 百 十 (枚)					わ か さ ぎ 万 千 百 十 (枚)					そ の 他 万 千 百 十 (枚)				
		171	:	:	:	:	172	:	:	:	:	173	:	:	:	:	174	:	:	:	:	175	:	:	:	:
		176	:	:	:	:	177	:	:	:	:	178	:	:	:	:	179	:	:	:	:	180	:	:	:	:
1 日		181	:	:	:	:	182	:	:	:	:	183	:	:	:	:	184	:	:	:	:	185	:	:	:	:
			:	:	:	:		:	:	:	:		:	:	:	:		:	:	:	:		:	:	:	:

(2) 過去1年間に漁業協同組合の遊漁者への啓発・普及活動の取組について当てはまる番号をすべて○で囲んでください。

ポスター、パンフレットの作成	講習会の開催	その他の啓発・普及活動
191	①	①

Ⅲ 活性化の取組

1 過去1年間に漁業協同組合が実施した都市との交流活動の取組について、その取組の参加人数を記入してください。

漁業体験と魚食普及活動を一体で実施した場合には、それぞれ同じ人数を記入してください。

		参 加 人 数 万 千 百 十 (人)				
201	漁 業 体 験	:	:	:	:	:
202	魚 食 普 及 活 動	:	:	:	:	:
203	そ の 他	:	:	:	:	:

2 漁業協同組合の運営する水産物直売所の施設数及び過去1年間の利用者数（来場者数）について記入してください。

		施設数	年間利用者 万 千 百 十 (人)
211	水 産 物 直 売 所	:	:

調査は以上で終わります。

ご協力ありがとうございました。

内容の問合せのみに使用させていただきますので、記入された方の氏名と電話番号の記入をお願いします。

記入者：

電話番号：



政府統計

統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

2013年漁業センサス 流通加工調査 魚市場調査票 平成26年1月1日調査

この調査票は、統計以外の目的(税金の徴収等)に使用することはありません。

〔記入上の注意〕

- 記入に当たっては、「魚市場調査票の記入の仕方」をよく読んでから、**黒の鉛筆又はシャープペンシル**を使用し、間違えた場合は**消しゴム**で消してください。

★数字は枠からはみ出さないように記入してください。

★○印は点線に沿って記入してください。

記入例

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

記入例

①

- 調査票の内容については、本年(平成26年)の**1月1日現在**で記入する箇所と、過去1年間について記入する箇所があります。過去1年間の場合は、**平成25年1月1日から平成25年12月31日までの1年間**について記入してください。

【統計調査員】		月 日 ()
氏 名 :		午前・午後 時ごろに
電話番号 :		調査票の回収に伺いますので、
		それまでに該当する箇所の記入をお願いします。

《地域センター連絡先》

〔事務処理欄〕

区分コード

大海区 都府県 (振興局) 市区町村 漁業地区 客体番号

： - ： - ： - ： - ：

市区町村名

漁業地区名

市場種類コード

1:中央
2:漁協
3:その他

：

開設者コード

1:地方公共団体 4:会社
2:漁協 5:個人
3:漁連

：

事業所名

ここから記入してください

- 魚市場の中で水揚げ又は搬入された漁獲物を卸売りするために使用できる売場の最大面積を**m²単位**で記入してください。

万 千 百 十 (m²)

101

： 十 百 千 万

2 1月1日現在の魚市場に所属する水産物卸売業者と水産物買受人の業者数を記入してください。

		千	百	十	(業者)
111	水産物卸売業者数	:	:	:	:
112	水産物買受人数	:	:	:	:

水産物買受人とは、水産物卸売業者から買い受ける仲卸業者及び売買取参加者です。
魚市場内の複数の卸売業者に同一の買受人が登録している場合は、魚市場としての買受人数を記入し、重複させないでください。

3 魚市場における過去1年間（平成25年1月1日～12月31日）の取扱高について、数量欄に水産物取扱数量を、金額欄に水産物取扱金額（消費税を含む。）を記入してください。

		万	千	百	十	(トン)
121	総数 ①+②	:	:	:	:	:
122	うち、活魚	:	:	:	:	:
123	水揚量 ①	:	:	:	:	:
124	搬入量 ②	:	:	:	:	:
125	うち、輸入品	:	:	:	:	:

数量は、過去1年間に魚市場へ上場された水産物（活魚、生鮮品、冷凍品及び加工品）の数量です。
また、第1次水揚量（内水面漁業、養殖量による生産品を含む。）のほか、他の漁業地域からの搬入量及び輸入品を含みます。

		億	千万	百万	十万	万	千	百	十	(円)
126	金額 総額	:	:	:	:	:	:	:	:	:
127	うち、活魚	:	:	:	:	:	:	:	:	:
128	うち、輸入品	:	:	:	:	:	:	:	:	:

金額は、数量欄で記入した、魚市場に上場された数量に対応する総金額（消費税を含む。）を記入してください。

4 1月1日現在で、魚市場において、水産物の品質・衛生等の管理を目的として設置されている機器について、当てはまる番号をすべて○で囲んでください。

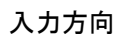
海水殺菌装置	砕氷・製氷機	脱臭装置、排ガス処理装置	水産加工機器	その他
131	①	①	①	①

(海水殺菌装置)
海水の殺菌・滅菌を目的とした装置。
(砕氷・製氷機)
氷がけ等、魚市場内で使用する氷を製造するための装置。
出荷用保冷車や漁船の船艙に積むための氷のみを製造する目的の装置は含めません。
(脱臭装置、排ガス処理装置)
建物内の空気の清浄を目的とした装置。
(水産加工機器)
フィレマシーン、包装機などの水産物の一次加工、パック作業等を自動で行うための装置。
(その他)
上記以外で、水産物の品質・衛生等の管理を目的として設置されている機器。

調査は以上で終わります。
ご協力ありがとうございました。

内容の問合せのみに使用させていただきますので、記入された方の氏名と電話番号の記入をお願いします。

記入者： 電話番号：

様式調第9号

統計法に基づく国の
統計調査です。調査
票情報の秘密の保護
に万全を期します。

2013年漁業センサス
流通加工調査
冷凍・冷蔵、水産加工場調査票
平成26年1月1日調査

〔記入上の注意〕

- 1 記入に当たっては、「冷凍・冷蔵、水産加工場調査票の記入の仕方」をよく読んでから、**黒の鉛筆又はシャープペンシル**を使用し、間違えた場合は消しゴムできれいに消してください。

★数字は枠からはみ出さないように記入してください。

★○印は点線に沿って記入してください。

記入例

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

記入例

1

- 2 調査票の内容については、本年（平成26年）の1月1日現在、前年（平成25年）の11月1日現在、過去1年間について記入する箇所があります。過去1年間の場合は、平成25年1月1日から平成25年12月31日までの1年間について記入してください。

【統計調査員】

氏 名：

電話番号

月 日 ()

午前・午後

時ごろに

調査票の回収に伺いますので、
それまでに該当する箇所の記入
をお願いします。

~~《地域センター連絡先》~~

〔事務処理欄〕

区分コード

事業所の形態コード

事業所の区分コード

1:個人
2:会社
3:漁協、漁連、生産組合
4:水産加工組合、加工連
5:その他の組合
6:その他

1:冷凍・冷蔵工場のみ
2:水産加工場のみ
3:両方

大海区	都府県 (振興局)	市区町村	漁業地区	客体番号
-----	--------------	------	------	------

市区町村名

漁業地区名

事業所名

I 事業所の概要

1 過去1年間（平成25年1月1日～平成25年12月31日）に事業所で営んだ事業について、当てはまる番号をすべて○で囲んでください。

また、そのうち事業の収入が一番多かったものについて、当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

冷蔵倉庫業とは、冷凍・冷蔵施設で**寄託品の保管を行う**事業で、倉庫業法（昭和31年法律第121号）に基づくものをいいます。

水産物卸売業とは、水産物を出荷者からの販売委託又は買い受けて卸売りする事業をいいます。

水産物仲卸（買）業とは、水産物を卸売業者から買い、小売店などに販売する事業をいいます。

水産物小売業とは、水産物仲卸（買）業者から水産物を買、消費者に販売する事業をいいます。

冷蔵倉庫業	水産加工業	漁業・養殖業	水産物卸売業	水産物仲卸（買）業	水産物小売業	その他
①	①	①	①	①	①	①
①	②	②	④	⑤	⑥	⑦

当てはまる番号をすべて○で囲みます。



101 営んだ事業

当てはまる番号を一つ○で囲みます。



102 主とする事業

2 平成25年11月1日現在の事業所における従業者数を記入してください。

		千 百 十 (人)			
111	常時	男	:	:	:
112	従業者	女	:	:	:
➡		113	うち、外国人	:	:
		千 百 十 (人)			
114	その他	男	:	:	:
115		女	:	:	:
➡		116	うち、外国人	:	:

従業者とは、以下の①～④のいずれかに該当する人をいいます。

- ① 個人事業主及び無給の家族従事者
- ② 常勤の役員
- ③ 雇用者（賃金・給与（現物給与を含む。）を支給されている人）
- ④ 出向・派遣受入者

なお、実務にたずさわらない事業主、他の会社等へ出向・派遣している者及び研修生は含みません。

常時従業者とは、上記の①及び②に加え、③又は④のうち、以下の⑤～⑦のいずれかに該当する人をいいます。

- ⑤ 期間を定めずに従事している人
- ⑥ 1か月を超える期間を定めて従事している人
- ⑦ 平成25年9月と10月にそれぞれ18日以上従事した人

その他とは、常時従業者以外の従業者をいいます。

例：1か月以内の期間を定めて雇用されている人、日々雇用されている人、など

なお、臨時雇用、日々雇用の場合でも、常時従業者の⑦に該当する場合は、常時従業者に含みます。

うち、外国人には、「常時従業者」及び「その他」のそれぞれに含まれている外国人の人数を記入してください。

なお、外国人研修・技能実習制度における雇用契約に基づく技能等習得活動及び習得した技能等を要する業務に従事している場合は従業者に含めますが、講習による知識習得活動期間中の者は従業者に含めません。

Ⅱ 冷凍・冷蔵工場

以下に該当する場合は、このページを記入してください。
該当しない場合は次のページへ進んでください。

主機10馬力（7.5kW）以上の冷凍・冷蔵施設を所有し、調査日前1年間（平成25年1月1日～平成25年12月31日）に水産物の低温保管した事業所又は水産物の凍結作業を行った事業所が対象です。

なお、冷蔵庫保管業の他、水産加工場が所有する主機10馬力（7.5kW）以上の自家用冷凍・冷蔵庫で、加工原料や製品を保管した場合も含めます。

1 事業所の冷凍・冷蔵庫の用途について、当てはまる番号一つを○で囲んでください。

営業用とは、倉庫業法に基づき営業許可を受けた冷蔵倉庫で、水産物の保管に用いるものをいい、自営品のみを扱った工場であっても、倉庫業法に基づくものは含めません。

自家用とは、倉庫業法に基づかない冷蔵倉庫で、水産物の保管に用いるものをいい、寄託品を扱っている工場であっても、倉庫業法に基づかないものは含めます。

営業用	自家用
201	1 2

2 過去1年間に事業所の冷凍・冷蔵庫を利用した利用者について、当てはまる番号をすべて○で囲んでください。

また、そのうち入庫量が一番多かった利用者について、当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

漁業協同組合等には、漁業協同組合の他、漁業生産組合及び漁業協同組合連合会を含めます。

漁業者には、個人の他、会社等の法人を含めます。

水産加工業協同組合等には、水産加工業協同組合の他、水産加工業協同組合連合会、その他の加工組合（事業協同組合、企業組合等）を含めます。

加工業者には、個人の他、会社等の法人を含めます。

寄託品							自
漁業協同組合等	漁業者	水産加工業協同組合等	加工業者	卸売業者	買受人	その他の	営品
①	①	①	①	①	①	①	①
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧

当てはまる番号をすべて○で囲みます。

当てはまる番号を一つ○で囲みます。

211	利用者	1	1	1	1	1	1	1
212	主な利用者	1	2	3	4	5	6	7

3 事業所の冷凍・冷蔵庫の冷蔵能力（収容トン数）及び1日当たりの凍結能力をトン単位で記入してください。

万 千 百 十（トン）

万 千 百 十（トン/日）

221 冷蔵能力 : : : : :

222 凍結能力 : : : : :

（冷蔵能力の換算率） 1m³ = 0.4トン

以下に該当する場合は、このページ以降を記入してください。
該当しない場合はここで終わりです。

Ⅲ 水産加工場

調査日前1年間（平成25年1月1日～平成25年12月31日）に、販売を目的として、水産物を原料として加工製造を行った事業所の方が対象です。

なお、漁業を営む事業所・世帯であっても、加工製造のための作業場等を有し、かつ専従の従事者を雇って加工製造を行っている場合も対象となります。

※ 水産加工品とは、水産動植物を主原料（原料割合で50%以上）として製造された食用加工品、飼肥料をはじめ、生鮮水産物を凍結した冷凍水産物のことです。

1 過去1年間に事業所で生産したすべての水産加工品について、その種類ごとに生産量をkg単位で記入してください。

		301					301						
		生 産 量					生 産 量						
		万 千 百 十 (kg)					万 千 百 十 (kg)						
①	ねり かまぼこ類	:	:	:	:	:	①7	煮 干 しいわし	:	:	:	:	:
②	魚 肉 ハム・ソーセージ類	:	:	:	:	:	①8	煮 干 しらす干し	:	:	:	:	:
③	魚 介 か に 類	:	:	:	:	:	①9	煮 干 しいかなご・こうなご	:	:	:	:	:
④	魚 介 そ の 他	:	:	:	:	:	②0	品 干 し 貝 柱	:	:	:	:	:
⑤	水 産 物 調 理 品	:	:	:	:	:	②1	そ の 他	:	:	:	:	:
⑥	す る め	:	:	:	:	:	②2	塩 蔵 いわし	:	:	:	:	:
⑦	い わ し	:	:	:	:	:	②3	塩 蔵 さ ば	:	:	:	:	:
⑧	そ の 他	:	:	:	:	:	②4	塩 蔵 さ け・ま ず	:	:	:	:	:
⑨	干 しいわし	:	:	:	:	:	②5	塩 蔵 た ら・す け とう だ ら	:	:	:	:	:
⑩	干 し あ じ	:	:	:	:	:	②6	塩 蔵 さ ん ま	:	:	:	:	:
⑪	干 し さ ん ま	:	:	:	:	:	②7	そ の 他	:	:	:	:	:
⑫	干 し さ ば	:	:	:	:	:	②8	く ん 製 品	:	:	:	:	:
⑬	干 し か れ い	:	:	:	:	:	②9	缶 ・ び ん 詰	:	:	:	:	:
⑭	干 し ほ っ け	:	:	:	:	:	③0	寒 天	:	:	:	:	:
⑮	干 し は た は た	:	:	:	:	:	③1	油 脂	:	:	:	:	:
⑯	そ の 他	:	:	:	:	:	③2	飼 肥 料	:	:	:	:	:

1 過去1年間に事業所で生産したすべての水産加工品について、その種類ごとに生産量をkg単位で記入してください。（つづき）

			301									
			生 産 量									
			万 千 百 十 (kg)									
③③	節 製 品	かつお節	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:
③④		か っ お な ま り 節	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:
③⑤		さ ば 節	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:
③⑥		そ の 他	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:
③⑦	け ず り 節	か っ お け ず り 節	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:
③⑧		そ の 他	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:
③⑨	塩 辛 類	いか塩辛	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:
④①		そ の 他	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:
④②	そ の 他 の 食 用 加 工 品	水産物漬物	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:
④③		調 味 料	水つく こんぶ く づ だ 煮	:	:	:	:	:	:	:	:	:
④④			産だ煮 物類	そ の 他	:	:	:	:	:	:	:	:
④⑤		加 工 品	乾燥・揚げ・焙焼・加工品	い か 品	:	:	:	:	:	:	:	:
④⑥			そ の 他	:	:	:	:	:	:	:	:	:
④⑦		そ の 他	そ の 他 の 調 味 加 工 品	:	:	:	:	:	:	:	:	:
④⑧	生 鮮 冷 凍 水 産 物	冷凍まぐろ類	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:
④⑨		冷凍かつお類	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:
⑤①		冷 凍 さ け ・ ま す 類	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:
⑤②		冷凍いわし類	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:
⑤③		冷凍まあじ・ むろあじ類	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:
		冷 凍 さ ば 類	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:

			301									
			生 産 量									
			万 千 百 十 (kg)									
⑤④	冷 凍 類	冷凍さんま	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:
⑤⑤		冷凍まだら	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:
⑤⑥	生 鮮 冷 凍 水 産 物	冷凍すけとうだら	:	:	:	:	:	:	:	:	:	
⑤⑦		冷凍ほっけ	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:
⑤⑧	冷 凍 類	冷凍いかなご・こうなご	:	:	:	:	:	:	:	:	:	
⑤⑨		冷凍はたはた	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:
⑥①	冷 凍 類	冷凍ほたてがい	:	:	:	:	:	:	:	:	:	
⑥②		冷凍いか類	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:
⑥③	冷 凍 類	冷凍かに類	:	:	:	:	:	:	:	:	:	
⑥④		その他冷凍魚類・冷凍水産物類	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:
⑥⑤	冷 凍 類	すけとうだら	:	:	:	:	:	:	:	:	:	
⑥⑥		いわし・さば	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:
⑥⑦	冷 凍 類	ほ っ け	:	:	:	:	:	:	:	:	:	
⑥⑧		そ の 他	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:

千 百 十
万 万 万 万 千 百 十 (枚)

原料の板のりに換算した枚数を記入してください。

2 過去1年間に事業所で生産したすべての水産加工品について、年間の販売金額が最も多かった種類を、上記1の番号①～⑥8から一つ選んで記入してください。

311	年間販売金額第1位の 水産加工品の種類	・ ・	・ ・
-----	------------------------	--------	--------

3 過去1年間の事業所における水産加工品の販売金額（消費税を含む。）について、当てはまる番号を一つ〇で囲んでください。

	100 万円 未 満	100 万円 未 満	500 万円 未 満	1,000 万円 未 満	5,000 万円 未 満	1 億円 未 満	5 億円 未 満	10 億円 以 上
321	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧

水産加工品以外の製品を販売している場合は、事業所の総販売金額（消費税を含む。）のうち、**水産加工品のみの販売金額（消費税を含む。）**に該当する区分を〇で囲んでください。

製造した水産加工品を**自社の他事業所へ加工原料として提供した場合**には、その分の金額は販売したものとして見積もってください。

4 過去1年間の事業所における原材料（水産動植物）の仕入れ状況について

（1）原材料に占める国産品の割合（重量ベース）について、当てはまる番号を一つ〇で囲んでください。

	す べ て 国 産	70 % 以 上	50 % 未 満	30 % 未 満	30 % 未 満	す べ て 輸 入
331	①	②	③	④	⑤	⑥

1～5を選んだ方は（2）もお答えください。

（2）事業所における国産原材料の仕入先について、当てはまる番号をすべて〇で囲んでください。

	漁 業 者	漁 業 協 同 組 合	そ の 他
332	①	①	①

漁業協同組合には、漁業協同組合が開設する魚市場から仕入れた場合を含めてください。
漁業を営む事業所・世帯において加工原料を自ら漁獲・収獲している場合は、**その他**に含めてください。

5 製品製造の工程管理内容について

- (1) 1月1日現在で、事業所におけるHACCP手法の導入状況について当てはまる番号を一つ〇で囲んでください。(国や業界団体等による第三者認証の他、取引先による二者間認証やHACCP手法の導入について自己宣言している場合も含めます。)

	導入している	導入していない	導入を決定している
341	☐	☐	☐

(導入していないが導入を決定している場合は、3のみ〇で囲んでください。)

HACCP (ハサップ) 手法
とは、食品製造における原材料から加工、出荷に至るまでの各段階で「安全性に害を与える要因を分析」し「危害発生の防止の上で重要な管理を行うべきポイント」を監視・記録することで、食品の安全性を確保する衛生管理手法のことをいいます。

1又は3を選んだ方は(2)もお答えください。

- (2) HACCP手法を導入している(導入を決定している。)理由について、当てはまる番号をすべて〇で囲んでください。

	製品の 高付加 価値化 のため	事故等 のリスク 削減の ため	輸出先 の基準 を満た すため	その他
342	☐	☐	☐	☐

調査は以上で終わります。

ご協力ありがとうございました。

内容の問合せのみに使用させていただきますので、記入された方の氏名と電話番号の記入をお願いします。

記入者：

電話番号：